



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 ホリイフードサービス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3077 URL <https://www.horiifood.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤田 明久
問合せ先責任者（役職名） 取締役統括本部長（氏名） 大貫 春樹（TEL）029(233)5825
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,169	—	△24	—	△33	—	△40	—
2024年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △43百万円（—%） 2024年3月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△7.16	—
2024年3月期中間期	—	—

（注）当社は、2025年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第2四半期（中間期）の数値および対前年同四半期（中間期）増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	2,617	225	7.1
2024年3月期	—	—	—

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 186百万円 2024年3月期 —百万円

（注）当社は、2025年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,750	—	135	—	128	—	115	—	20.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ホリイ物流、除外 1社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	5,670,000株	2024年3月期	5,670,000株
2025年3月期中間期	439株	2024年3月期	439株
2025年3月期中間期	5,669,561株	2024年3月期中間期	5,669,561株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済の正常化が進みインバウンド需要の高まり、賃上げによる雇用や所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続きました。その一方で、不安定な国際情勢も続いており、長引く円安や、エネルギー調達価格の高騰に関連して物価上昇などの影響も続いており、依然として先行き不透明な状況も継続しております。

外食産業におきましても、回復基調は続いているものの、原材料をはじめとする物価の上昇に加え、人手不足による人件費関連コストの上昇も継続して発生しており、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループはこれまで関連会社でありました株式会社ホリイ物流について、2024年4月30日付で同社の発行済株式の40%を追加取得し、60%を保有する連結子会社とし、組織の再編を行いました。これにより、当中間連結会計期間より連結決算に移行しております。

店舗におきましては、ゆるやかな回復基調は続いているものの、コロナ前の水準には至っておらず、引き続き効率を重視した店舗運営を進めて参りました。原材料価格の上昇も続いており、季節商品の入替にあわせグランドメニューの変更や価格の見直しなど、業態ごとにコストの最適化を進めて参りました。

これらの取組により業績につきましては、売上高は2,169,307千円、営業損失24,296千円、経常損失33,761千円、親会社株主に帰属する中間純損失40,611千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当中間連結会計期間末の流動資産は、1,800,935千円となりました。

主な内訳は、現金及び預金1,523,443千円、売掛金102,299千円、前払費用82,515千円であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末の固定資産は、816,683千円となりました。

主な内訳は、有形固定資産192,412千円、敷金及び保証金394,655千円であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末の流動負債は、1,951,376千円となりました。

主な内訳は、短期借入金1,500,000千円、未払金196,073千円であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末の固定負債は、440,740千円となりました。

主な内訳は、長期借入金94,624千円、資産除去債務309,784千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、225,503千円となりました。

主な内訳は、利益剰余金40,581千円、その他有価証券評価差額金46,299千円であります。

なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より連結決算に移行いたしました。そのため、前連結会計年度に四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を作成していないことから、(1)経営成績に関する説明、(2)財政状態に関する説明において前年中間期及び前期末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの中間期の連結業績予想につきましては、2024年8月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年11月13日に公表いたしました「第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。また、通期の連結業績予想につきましては変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,523,443
売掛金	102,299
原材料及び貯蔵品	68,355
前払費用	82,515
その他	24,321
流動資産合計	1,800,935
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	130,696
その他（純額）	61,716
有形固定資産合計	192,412
無形固定資産	393
投資その他の資産	
長期貸付金	33,027
敷金及び保証金	394,655
長期預金	14,500
繰延税金資産	38,616
その他	143,078
投資その他の資産合計	623,877
固定資産合計	816,683
資産合計	2,617,619
負債の部	
流動負債	
買掛金	100,164
短期借入金	1,500,000
1年内償還予定の社債	14,000
1年内返済予定の長期借入金	6,612
未払金	196,073
未払法人税等	5,265
賞与引当金	29,019
店舗閉鎖損失引当金	23,739
資産除去債務	3,150
その他	73,351
流動負債合計	1,951,376
固定負債	
社債	30,000
長期借入金	94,624
資産除去債務	309,784
その他	6,331
固定負債合計	440,740
負債合計	2,392,116

(単位：千円)

当中間連結会計期間
(2024年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	100,000
利益剰余金	40,581
自己株式	△192
株主資本合計	140,388
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	46,299
その他の包括利益累計額合計	46,299
非支配株主持分	38,814
純資産合計	225,503
負債純資産合計	2,617,619

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,169,307
売上原価	607,369
売上総利益	1,561,937
販売費及び一般管理費	1,586,233
営業損失(△)	△24,296
営業外収益	
受取利息	464
受取配当金	2,688
その他	1,726
営業外収益合計	4,878
営業外費用	
支払利息	7,920
支払手数料	6,006
その他	415
営業外費用合計	14,342
経常損失(△)	△33,761
特別利益	
段階取得に係る差益	9,000
負ののれん発生益	13,657
特別利益合計	22,657
特別損失	
店舗閉鎖損失引当金繰入額	26,894
固定資産除却損	151
特別損失合計	27,045
税金等調整前中間純損失(△)	△38,149
法人税等	2,751
中間純損失(△)	△40,901
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△290
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△40,611

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△40,901
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,419
その他の包括利益合計	△2,419
中間包括利益	△43,320
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△43,030
非支配株主に係る中間包括利益	△290

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益または税金等調整前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結の範囲の重要な変更)

当社は、2024年4月30日付で株式会社ホリイ物流の株式を追加取得したことに伴い、当中間連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2024年6月30日としていることから、当中間連結会計期間においては、2024年7月1日から2024年9月30日の3か月間を連結しております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	北関東 エリア	首都圏 エリア	東 北 エリア	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	985,551	809,058	372,034	2,166,644	2,662	2,169,307	—	2,169,307
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	985,551	809,058	372,034	2,166,644	2,662	2,169,307	—	2,169,307
セグメント利益 又は損失(△)	69,721	62,463	△3,594	128,590	△150,902	△22,312	△1,984	△24,296

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、本部における売上及び各報告セグメントに配分していない全社費用を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,984千円は、事業セグメントに帰属しない原材料供給等を行っている会社の利益及び、各報告セグメントに配分していない未実現利益消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。